

アラカルト

西日本自動車共済協同組合
組合本部 経理担当



松尾博士さん
Matuo Hiroshi

昭和から平成を生きて

西日本自動車共済協同組合（西自協）は毎年7月15日の未明、暁をついて行われる追い山、博多祇園山笠で知られる博多の東比恵に本部を置き、九州産業局の認可をいただいて自賠責・任意の自動車共済を全国自動車共済協同組合連合会（全自共）の指導のもと全国5つの自動車共済協同組合とともに契約の保全および事故処理に取り組んでおります。

●組合士の試験に挑戦したきっかけ

平成19年9月、組合事務局から受験の募りがあり、全自共からも熱心な指導があるとのことでしたので、試験日まで2カ月程でしたが、経理を担当している私にとっては、遅かれ早かれ免れないと考え自ら志願しました。

運よく一度で3科目合格し西自共で初の組合士保有者となりました。翌年からは毎年多くの後輩職員が受験に挑戦し、今では10名以上の組合士が誕生していることは頼もしいことです。

●組合士の取得は通過点

合格後はすぐに福岡県中小企業組合士協会に入会し、研修・講演会や、年1回ある九州組合

士協会の視察研修にも積極的に参加しております。費用はすべて自費なので財布は少々厳しいですが。

平成25年には優良組合士の表彰を授けられましたが、その際の講演で明治大学名誉教授百瀬先生の組合士への熱い期待のメッセージが心にしました。26年4月からは、60歳定年後、引続き嘱託職員となり、昨年6月には組合士協会総会で理事の役職を賜りました。新たなスタートの気分です。

これまで決して順風満帆ではありません。福岡の大学商学部を卒業後、東京のモルタル・樹脂関係のメーカーに15年ほど勤務し、主に法務・株式・税務等を担当しました。国税局の調査では先鋒楯として数人の調査員を相手に駆引き対応を何度も演じさせられたものです。

その後、福岡に戻り、今は人手に渡った地域のホテルに半年勤務後、西自共の顧問税理士事務所になんとかごやっかいになり、立場が変わっても20年以上事務所のみなさんには大変お世話になっています。

●試験合格を目指す受験者へ

これから受験をされるみなさんへは、仕事は慣れや馴れでも決して狎れあいのなれにはならず、とにかく場数を踏み、修練を重ね実践の場で仕事場では活性化をもたらされることを期待します。

●時代はまわる

昭和の安保騒動、東京オリンピック、そして今また安保の問題、数年後には東京オリンピックが開催されます。

中島みゆきの歌ではないですが、時代はいろいろなものがめぐり回りますね。でも、戦争だけは回ってほしくないものです。